



平成27年9月愛知県議会が10月14日に閉会
総額83億3703万余円の一般会計補正予算など
28議案を審議、可決！

平成27年9月議会主な補正予算の内容

平成27年9月愛知県議会は9月17日に開会。地域医療介護総合確保基金を活用した介護施設の整備や介護人材の確保対策(41億2384万余円)や、道路・河川等の建設事業(37億4271万余円)、交通安全施設の整備(1億663万余円)など、総額83億3703万余円の一般会計での増額補正予算案を審議。補正予算案以外では、県営名古屋空港に整備する見学者受入拠点施設展示物整備基金条例の制定についてなど28議案を可決し、10月14日に閉会した。

伊勢志摩サミット

ゲートウェイとなる愛知県での受入・歓迎準備を始めるとともに警戒警備の万全を期す。

政府からの協力要請を受け、各国首脳や関係者、メディアなど多くの方々の受入・歓迎を万全の体制で行うと共に、日本一の技術・産業や伝統・文化の魅力にふれていただけるように取組む。また、国内外要人の身辺の安全確保と国際テロなどの未然防止など警戒警備の準備を進める。

伊勢志摩サミット(G7)
開催日/2016年5月26日(木)~27日(金)
開催地/三重県志摩市阿児町神明賢島



予算額
3億
5400万円

愛知県議会
なう NOW



9月議会 建設委員会での高橋正子の質問

交通事故の危険性が高い交差点での事故防止対策について

一宮市内のレッドゾーン

- 【西萩原北方線】北今(北今交差点)
- 【155号】萩原町高木(高木交差点)
- 【155号】南小淵(南小淵交差点)
- 【155号】末広(末広3丁目西交差点)
- 【大垣一宮線】小信中島(尾西庁舎北交差点)
- 【一宮各務原線】浅井町大日比野(大日比野交差点)
- 【岐阜稲沢線】大和町南高井(南高井交差点)
- 【155号】八幡3丁目(稲荷公園北西交差点)
- 【155号】萩原町萩原(二子交差点)



幹線道路の特定区間で交通事故の発生割合が高い「事故危険箇所」は愛知県内で130箇所が特定され、レッドゾーン69箇所、イエローゾーン61箇所に区分して平成28年度までに事故発生を3割減の目標で緊急的、集中的に対策をとっていく。抜本的な交差点改良ができない箇所については、カラー舗装などでドライバーに注意喚起を促す施策をとることが多く、事故抑止効果も報告されている。私的感想として、平成20年からスタートしたカラー舗装対策にドライバーも慣れを感じかけていないか?また、メンテナンスで摩耗しているカラー舗装の再塗装に今後、費用が必要となっていくことなどが課題。県としては、カラー舗装だけではなくさらに新しい手法の導入も視野に交差点の危険箇所対策はしっかりと取組んでいくと答弁。

大規模展示場の整備を目指し、基本構想を策定

本県の産業基盤の強化を進めるため、大規模展示場の整備に係る検討を加速。

予算額
3000万円

リコモ公園西駅東側に新たな改札口を整備

大型輸入家具専門店の出店などにより、リコモ利用者の利便性向上を図る。

予算額
742万3000円

県営名古屋空港見学者受入拠点施設の整備に向け展示コンテンツづくりを進める

展示コンテンツの基本設計を実施するとともに、展示物の整備に必要な財源を確保するために基金を設置する。

予算額
500万円

インドに県内企業の相談窓口となる「愛知デスク(仮称)」を設置

県内企業の海外事業活動を積極的に支援するために、高い関心を集めるインドに「愛知デスク(仮称)」を民間委託により設置。

予算額
575万5000円

交通死亡事故抑止に向け、交通安全対策を強化

事故が多発する交差点の信号灯器のLED化で、交通事故の抑止に努めていく。

予算額
1億663万8000円

団塊の世代が後期高齢者となる平成37年に向けて介護施設の整備や介護人材の確保に向けた取組を推進

地域における介護の総合的な確保を推進するため、地域医療介護総合確保基金を活用し、介護施設の整備や介護人材の確保を図るための施策を推進。

予算額
41億2384万2000円

愛知県と岐阜県が連携し両県の産業観光施設の周遊観光を実施

航空機や自動車、鉄道などの産業観光施設を始めとした観光スポットを巡るバスツアーを催行。

予算額
320万円

県内産業における女性の活躍促進・雇用拡大のため「あいち・ウーマノミクス」を推進

県内製造業をはじめとし、女性技術者・研究者が活躍できる職場環境づくりを進める。

予算額
2017万8000円

あいちの農林水産物の消費拡大を図るため更なるブランド力の強化等に取り組む

愛知の誇る名古屋コーチンや花、抹茶、あさり、うなぎなどを核として更なるブランド力の強化に取り組む。

予算額
7305万6000円

特別委員会 「産業振興・環境対策特別委員会」

水素エネルギーとロボット技術の最先端施設を視察

9月1日、福岡県糸島市にある「水素エネルギー製品研究試験センター」へ。今、自動車など広範な分野への応用が期待されている水素エネルギー製品の研究開発試験センターを視察。また福岡市では、医療・介護・災害救助など様々な分野で重要な役割を果たすと期待されるロボットの体験展示施設「ロボスクエア」で、我が国の先端技術を体験。翌9月2日は、福岡市が中部水処理センターに開設した下水処理過程で発生するバイオガスから水素を製造し、燃料電池自動車(FCV)へ供給する世界初の水素ステーションの施設調査を行った。



産業振興環境対策特別委員会委員長としてあいさつ



先端技術を視察



何ができるの? どうなってるの?
一宮で進む! ビッグプロジェクト



西尾張中央道に東海北陸道のICができるの?

東海北陸自動車道と県道岐阜稲沢線(西尾張中央道)を接続させる「西尾張インター(仮称)」の設置工事が進められています。

東海北陸自動車道へのアクセス強化と共に、西尾張中央道の渋滞を緩和させる目的で新たにインター「西尾張インター(仮称)」を建設中! 今年度からはランプ橋の橋脚工事に着手し、交差部道の立体化に向け、東側の橋台工事を進めていく。供用開始は2017年度の予定であるが、用地取得や既設の地下占用物の撤去に時間がかかり2017年より遅れる見通し。

旧尾西市の木曾川・西中野渡船上流に、新しい橋を造ってるの?

巨大橋梁「新濃尾大橋(仮称)」の架橋工事を進めています。

「濃尾大橋」から下流にあたる西中野渡船の上流約1km地点に「新濃尾大橋(仮称)」の架橋工事が進行中。架橋位置は一宮市東加賀野井~羽島市下中町城屋敷で、この一般県道「羽島稲沢線」は一宮市側は国道155号に接続で、7~8年後には完成の予定。現在、8基の橋脚のうち2基と橋台1基が完成し、今年度は右岸側の橋台1基の施工と、28年度に2基の橋脚工事を着手に向け手続を進める。



西尾張中央道・苅安賀踏切の慢性的な渋滞解消対策は?

名鉄尾西線苅安賀踏切を除却し、鉄道を高架化します。

交通渋滞の解消対策として、名鉄尾西線苅安賀1号踏切の箇所と近接する苅安賀駅を含めた約1.1km区間を高架化する。計画では、苅安賀1号踏切をはじめ3つの踏切は除却、西尾張中央道を現在の2車線から4車線にし、円滑な交通の確保を行う。事業延長は約1.8kmで、今年度は、鉄道施設(本線)の詳細設計、仮側道設計および用地測量を進めていく。



名古屋高速道路が岐阜まで延びるってほんと?

名古屋高速16号線以北の国道22号を2階建てにして「名岐道路」を岐阜へ延伸する要望があります。

本年8月に、一宮市、岐阜市、各務原市、笠松町、岐南町の3市2町で「名岐道路整備促進期成同盟会」(会長・中野正康一宮市長)が設立。現在の名古屋高速16号一宮線以北の名岐道路を延伸し、岐南インターへの接続を要望。また9月には、同盟会のメンバー首長がそろって愛知県庁を訪れ、名岐道路延伸区間の早期事業着手に関する要望が行われた。